

# BOAT RACER'S HOTLINE

松本 怜

Rei MATSUMOTO

成績は9月23日現在

登番	支部	出身	期	年齢	級	前期勝率	通算勝率	通算1着	通算優出	通算優勝	2024年賞金	生涯賞金
5148	福岡	福岡	127	30	B1	3.53	2.83	28	2	0	863万7000円	3291万6657円



クビもちらついたが、気持ちの切り替えで急成長同期に刺激を受け、A級昇格&初優勝を目指す!

○異色の経歴のボートレーサー  
消防署で勤務経験があるのか。

レーサーになる前は大牟田市の消防本部に4年間勤めていました。消防車にも乗ったし、救急車にも乗りました。「兼務」という業務もあって、火事があれば消防車へ、なければ救急の仕事もする……ということもありました。

ボートレースとの出会いは?

消防に入る前に、救急救命士の資格を取るために専門学校に行っていて、そこがボートレース福岡の近くだったんです。学校の合間に「面白そうだし、行こうや!」って感じで結構行ってたんですよ。20歳ぐらいの頃で、舟券も買いましたよ。ぼろ負けです。でもお金を増やしたいというよりはレースを見たり、エンジンの音を聞いたりすることが一番の目的でした。北九州市に住んでいたこともあって、若松が近くてボートレースは知っていたし、小さい頃は親に連れて行ってもらったことはあったみたいなんです。記憶はないですけど。

ボートレーサーを目指すようになったのは?

消防署にいと、普通に生活しているより人の死と向き合う確率が高いんです。自分よりも若い人がそのような状況に置かれた現場に行くこともありました。そんな時に「人って簡単に死んでしまうことがある」と思うことがあって……。自分ももしその状況になってしまった時に、今の自分に後悔し

ないか……と考えるようになったんです。決して消防の仕事が嫌というわけではないけれど、満足はしていなかった。自分がこのまま死んだら後悔する。それならば以前から「趣味を仕事にしたい」という思いがあったのでボートレーサーを目指すことを決めました。4回目で合格することができました。

気持ち的に振り切ったことがいい方向に向かったのかなと思っています。(引退に関わる)4期通算勝率の件もあって、「今できることを全力でやって、成績が取れなかったら仕方ない」と思い切ってレースに行くようにしました。走り方を変えたわけではないし、気持ちだけです。それからはこちらの思いのままレースはしていません。

養成所の生活は?

消防署に勤めていた時は「食べる食べろ! 大きくなれ」という世界。体も超筋肉質だったので入るまでに結構減量をしました。養成所の期間中はきつかったですが、体面は問題ないんですが、社会人として自由を知っているのが故に、拘束された生活に耐えるのがつらかったですね。

松本怜の狙い時は?

私はめちゃくちゃ分かりやすいですよ。いい時は初日から結果が出ている。最初に成績がいいと乗って行ける。最近は一走目で自分が覚醒モードに入るのか、子鹿モードに入るのかが決まる気がしています。初日の走りには注目してほしいです。

○成長の軌跡

デビューから5期ほどは勝率1〜2点台が続く。

うまくいかなかったですね。全然でした。「これがプロか……」という感じで。ターンもスタートも道中の走りも調整も、全部がうまくいかなかったんです。今となってはその頃うまくいっていたら面白くなかったかな……という思いもあります。師匠の池永太さんから「今節はひとつ、全速ターンをするようにしよう」などアドバイスしてもらっていたんですが、やると転んでしまったり……。シンプルに不器用でしたね。

8月はいろいろ考え過ぎて思い切ったレースができていませんでした。なれるかなれないかは分からないけれど、A2級を目指すといういけないと思っっています。

優出を経験して、優勝を狙える手応えも?

隣のページに掲載される同期の川井萌に続きたいですね。いいものを見せてもらいましたからね(笑)。ただ、自分はまだ先のことを考えることは好きじゃないんですよ。今を楽しんだ上で、結果がついてくれたらいいですね。将来のことは大きすぎて、ぼやけてしまう。繰り返しになります、今は優勝したいですね。川井萌のせいで(笑)。

# BOAT RACER'S HOTLINE

川井萌 Moe KAWAI

登番	支部	出身	期	年齢	級	前期勝率	通算勝率	通算1着	通算優出	通算優勝	2024年賞金	生涯賞金
5174	静岡	静岡	127	22	B1	4.78	4.40	105	2	1	1724万8833円	5556万7833円



地元の浜名湖で嬉しい初優勝、その勢いでA1級へ地元のレディースチャンピオン出場目指して奮闘中

○ボートレーサーに一目惚れ  
元競輪選手だったお父さんの  
すすめで公営競技の世界へ。

高校1年生の時に浜名湖に連れていかれて、一目惚れしました。すぐに「レーサーになりたい」と思いました。父も大賛成してくれました。ガールズケイリンの選手になることも勧められはしたんですが、自転車に乗るのが好きじゃなかったのです。

——静岡には自転車競技からボートレーサーになる選手が多い。  
渡邊英児さんと親は仲良しですね。その縁もあって、柴田百恵選手を紹介してもらって、養成所受験のアドバイスももらいました。3回目の受験で合格しました。

——養成所の生活は？  
運動ができる人が多くて、ついに行くのに必死でした。自分はソフトテニスをしていましたが、やっぱり運動をしていたわけではなかったたので、成績も良くなかったですね。管理された生活で「やるしかない」という気持ちでした。

——デビューしてここまで。  
最初はうまくいかなくて、連日も絡めないし、何をしてもダメな感じでした。1勝してからようやくレースの楽しさを覚えた感じですね。プロペラに関してもちょっとずつ違いが分かるようになってきましたし。「こうしたら足が良くなる」という感覚も学ぶことができました。

——プロペラはよく触る方？  
そうですね。徐々に思うように操縦もできるようになってきたと

——成績はさらに飛躍。23年前期で一気に21勝を挙げ、勝率も4点台へ。  
そのあたりで吉村誠選手に師匠になってもらいました。師匠にレースを見てもらって、反省点やアドバイスももらえるようになったことで、レースに対してしっかり考えられるようになりましたね。それまでは感覚でレースをしていただけ、今は考えて走ることができています。自分の足とか、相手のクセとか、いろいろなことに目を配ってレースに臨むようになりました。それが成績の上昇にもつながっていると思います。

○初優勝と近況  
——8月の浜名湖でデビュー初優勝を達成。  
エンジンが良かったです。押しが良かったですね。波を越えた後に返ってくる感じが良かった。プロペラも木村紗友希さんに助言をもらって、それでレース前まで調整をしました。紗友希さんに教えてもらったからその優勝だと思っています。一緒に獲った優勝という感じがですね。

——初優勝も初優勝も地元の浜名湖。  
浜名湖は毎回練習をしている水面ですから。一番乗りやすい水面です。浜名湖だから自信があるというわけではないですけど、練習をしてきたことをそのままできたらいいと思っています。

——今期は(8月末の時点)で6点

オーバー。A1級も視野に入る成績。

2月の児島オールレディースの準優勝戦でフライングを切ってしまつて…。その後はペナルティーで混合戦を3か月間走りしました。その間はスタートを見直しました。勢いで行くのではなく、しっかり考えて冷静になつて走ろうと。それまでは目先のことしか考えていなくて、とにかく優出したという焦りがありましたね。後は男子のスピードに負けないように…と練習したら、ちょっとはスピードもついたと思います。

——一方、現状の課題は？  
メンタルですね。安定した成績を残せるようにしたいですね。

——ここまで来たら今期はA1級昇格へ。  
もちろん目指して頑張ります！

——浜名湖はビッグレースも多くなされる場。来年2月にはPGIスピードクイーンメモリアルが開催される。  
その出場権利はないでしょうね。自分は1着で走ってもタイムが遅いので、…、だけど出られるように頑張りたいです。あとは浜名湖で8月に開催されるレディースチャンピオン。こちらには出られるだけの成績が取れていると思うので、まずはそこを目指して頑張りたいです。

——女子のビッグレースはもうある、将来的にはSGレースへ。  
そこは考えていないですが、女子の大きなレースには出られるように、1走1走頑張ります。